

JSET 26

日本教育工学会 第26回全国大会 講演論文集
2010.9.18 sat — 9.20 mon



【利用方法】下記の3種類の利用方法が用意されています



Adobe Readerは8以上で
ご利用下さい

大会プログラム

発表番号ごとに論文を表示する

全文検索

論文中に含まれる文字列を検索し、
該当する複数の論文を表示する [全文検索の詳細はこちらへ](#)

冊子版 PDF

セッションごとに論文を表示する

・[Adobe Readerのダウンロード](#)

第1日 9月18日(土)

9:00~17:00	受付
10:00~12:00	一般研究発表 1
12:00~13:30	昼食・各種委員会
13:30~15:30	シンポジウム 1
15:50~17:50	一般研究発表 2
18:00~19:30	ワークショップ

第2日 9月19日(日)

9:00~16:00	受付
9:30~12:30	一般研究発表 3
12:30~14:00	昼食・理事会
14:00~14:30	全体会
14:45~17:30	シンポジウム 2
18:00~20:30	懇親会

第3日 9月20日(月)

9:00~15:00	受付
9:30~12:30	一般研究発表 4
12:30~14:00	昼食・大会企画委員会
14:00~16:30	課題研究発表



日本教育工学会
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-13-7 マルキビル
TEL/FAX : 03-5740-9505



高等教育機関を対象とした 携帯電話のための情報配信システムの利用状況

The Usage Situation of the Information Delivery System for Mobile Phones in Higher Education

葉田 善章

Yoshiaki HADA

放送大学 ICT 活用・遠隔教育センター

Center of ICT and Distance Education, the Open University of Japan

＜あらまし＞ 放送大学 ICT 活用・遠隔教育センターでは、2005 年度より携帯電話への情報配信システム K-tai Campus のサービス提供を実施している。本稿では、2010 年 2 月 23 日までのシステムへのアクセスログを解析することで明らかとなった K-tai Campus の利用状況について述べる。アクセスログから、システムへのアクセス件数は、月別では 5 月、10 月、時間別では、朝、夕、夜中、曜日別では平日にピークがあることが明らかとなった。また、学生が K-tai Campus にアクセスする端末の約 78.6%は 3G 携帯電話、約 20.5%が PC であること、約 75.9%が URL を直接入力して K-tai Campus へのアクセスが行われることが明らかとなった。

＜キーワード＞ 携帯電話 高等教育 コミュニケーション システム開発 利用分析

1. はじめに

近年、多くの大学生が持つようになった携帯電話は、これまでの学内に置かれた掲示板による情報伝達に代わり、授業情報やキャンパス情報を伝える大学と学生を結ぶコミュニケーションツールとして期待されている。

我々は、高等教育機関が携帯電話をキャンパスで利用する上で共通的に利用可能な基本機能を構築し、K-tai Campus (葉田ほか 2007) として 2005 年度よりサービスを提供している。本稿では公開を開始した 2005 年 11 月から 2010 年 2 月 23 日までのアクセスログの解析により明らかとなった、掲示板機能の利用状況について報告する。

2. K-tai Campus の概要

K-tai Campus は、高等教育機関を対象とした携帯電話による大学と学生間のコミュニケーションの支援を目的としたサービスである。多くの大学が共通で利用できる基本的な機能として、ケータイサイトとメール配信を提供している。サービスの提供形態は、図 1 のように利用機関にサーバを置かず、放送大学に置かれたサーバをネットワーク経由で利用してもらう ASP (Application Service Provider) 形式である。

本システムが提供するケータイサイトは、利用する大学別に専用サイトが構築され、専用の

URL によって利用するものとなっている。ケータイサイトは、ユーザ別の利用制限機能を備えており、誰でも見ることができる公開情報と、ID・パスワードが発行された教職員や学生等が利用できる学内情報が用意されている。

本システムが提供するメール配信機能は、携帯電話キャリアが行っている迷惑メールフィルタへの対策を考慮した専用のメールサーバを用いている。また、メール配信時には配信範囲を選択できるようになっており、目的に応じて、全学、学部、学科、あらかじめグルーピングしておいたリストへの配信が行えるものとなっている。



図1 システムの概要

3. 掲示板機能の利用状況

K-tai Campus システムの掲示板は、システム公開から2010年2月23日までに、高等教育機関（専門学校、高専、短大、大学）の合計22機関からの利用があった。K-tai Campus の利用状況を明らかにするため、これら機関のサイトへのアクセスについて、Webサーバとして用いているApacheのログを用いて解析を行った。対象となる総アクセス件数は、114377件であった。

Apacheで記録されるログの内容には、アクセス日時、アクセスしてきた端末のIPアドレス、アクセス元URL、検索キーワード、閲覧した端末の情報であるUserAgent（アクセスブラウザ、端末機種）が含まれている。これらを用いること

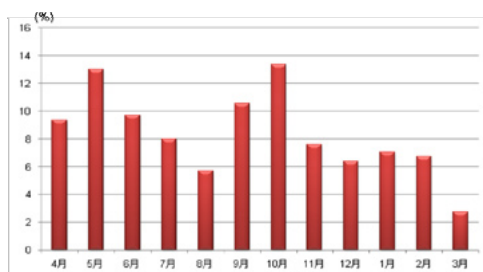


図2 月別のアクセス

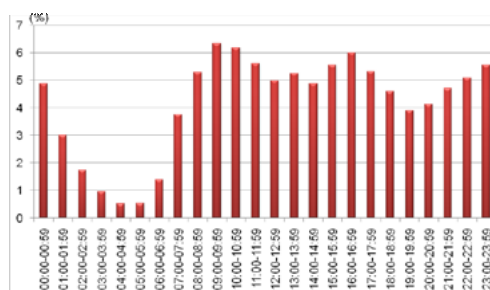


図3 時間帯別のアクセス

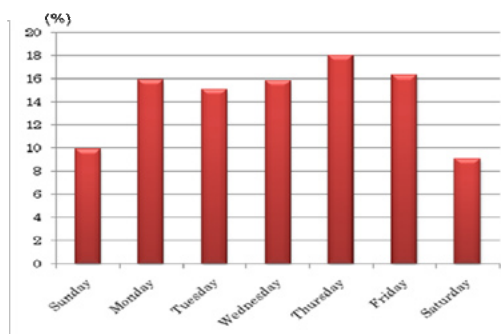


図4 曜日別のアクセス

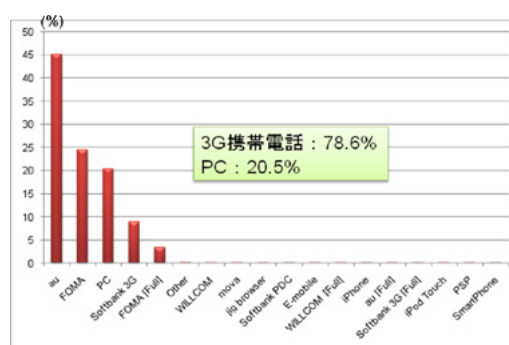


図5 アクセス端末

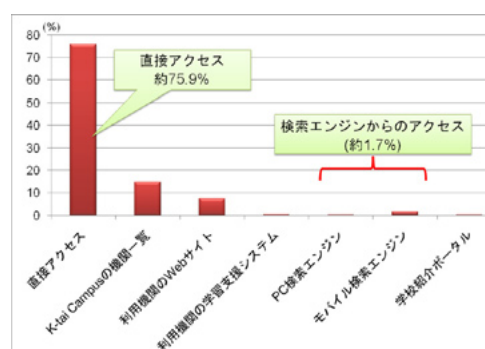


図6 アクセス元URL

で、それぞれ図2～4のように、月別、時間帯別、曜日別のアクセス状況が明らかとなった。また、それぞれ図5、図6のようにアクセス端末、アクセス元URLについても明らかとなった。

4. まとめ

本稿では、複数の高等教育機関が利用したK-tai Campusのケータイサイトについて、アクセスログを解析することで利用状況を明らかにした。今後も継続してK-tai Campusのサービス提供を実施するとともに、高等教育機関における利用状況について報告していく予定である。

利用のお問合せ先 e-mail: k-tai@ouj.ac.jp

参考文献

葉田善章, 篠原正典, 清水康敬 (2007) “K-tai Campus: 携帯電話による大学情報配信システムの開発とその利用”, NIME研究報告32